

長束集会所の改修について（要望）

日頃から、私ども長束地区社会福祉協議会が取り組んでおります「あんぜん・あんしんのまちづくり」事業の推進につきましては、ご理解とご指導を頂き有り難うございます。また、長束集会所の利用につきましては、地域における社会福祉活動や地域文化などの活動拠点として、大いにその成果を挙げているところです。

さて、先日、安佐南区役所担当部門から長束集会所の耐震工事についてご説明を承りましたが、耐震工事完了後は、集会所の寿命が延命出来ることになり、将来にわたって利用できるよう、従来からお願い申しあげております集会所の一部改修について、次のとおりご検討賜りますようお願い申し上げます。

前提

1. バリアフリー対応であること
 - ①高齢化社会が進展する状況を勘案し、高齢者が利用しやすい構造であること。
 - ②障害者にやさしい施設であること。
2. 災害対応であること
 - ①災害時の避難生活が維持できること。
 - ②プロパンガスが使用できること
3. 利便性が向上すること

要望

1. ホールが効率的に利用が出来る状態に改修してください。
 - (1) ホールに付随するステージを廃してください。
 - (2) ホールには椅子・机収納室を設置してください。
 - (3) 放送設備を常設してください。(アンプ、プロジェクター、スクリーン、TV 及び WiFi など)
 - (4) ホールに付属した湯茶、簡易調理のできる設備を設けて下さい。
 - (5) 行事が円滑に行えるよう電源（20AX 6 箇所）を設けてください。
2. 会議室スペースの有効活用について
 - (1) 管理人室を廃し、会議室に改修してください。

当委員会では、集会所管理は今後とも無人管理とすることにしています。このため、不要となる現在の管理人室関連（風呂を除く）のスペースは会議室に改修、併せて付随する湯沸かし場を設けてください。
 - (2) 会議室は、可動式の「間仕切り」にしてください。

出席者数や行事の規模等に応じて、臨機にスペースを分割、確保する事が可能となり、スペースの有効活用が期待できると考えます。

3. 施設全体をユニバーサルデザイン化してください。

(1) 多目的トイレに改修してください。

現在のトイレは、障害がある者にとっては使用することに難があります。また、長束集会所には、災害時避難場所としての機能がありますが、現状では避難施設としての対応は困難であると考えられます。

(2) 高齢者が気軽に使用できるようエレベーターまたはエスカレーターを設置してください。また、代替の措置として、階段昇降機の設置をご検討ください。

(3) 玄関をバリアフリーにしてください。

4. 避難施設としての改修

①避難者のために風呂の改修してください。併せて、風呂の湯沸かし用のボイラーを設置してください。

②和室奥の 6 畳と管理人室の六畳をあわせて一部屋の畳敷の部屋とし、避難スペースとして活用できるようご検討下さい。

③避難施設では、プロパンガスが有効と考えられるので、熱源は現状のままとしてください。

5. その他

(1) 避難スペース及び老人集会室以外の床は、すべて板張りにして下さい。

(2) 玄関および出入口関係

①玄関の鍵を「カード式」にしてください。

②1 階西側の出入り口を廃し、新たに集会室北側に予備玄関を設置してください。

③1 階の部屋の南側の窓は、吐き出し窓に取り替えてください。

④玄関付近に「手洗い場」を設置して下さい。

(3) 老人集会室を1 階に設けてください

(4) ふれあいセンターの事務室を設置してください。

(5) 照明器具はすべて LED に改めてください。

以上